



成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種はおすすめですか？

平成31年度からは対象者が65歳の方のみになります

平成26年度から、65歳の方を対象に「成人用肺炎球菌ワクチン」が定期接種となりました。経過措置として、65歳を超えた方についても助成の対象としていましたが、平成30年度で終了となります。

風邪やインフルエンザをきっかけに肺炎を発症してしまうことが多くなるこの季節に、肺炎球菌やワクチン接種の必要性についてお話しします。

Q. 肺炎球菌とは？

A. 肺炎球菌は、鼻やのどなどの上気道に存在する身近な細菌のひとつです。高齢者や糖尿病、心疾患、呼吸器疾患などの慢性疾患を持つ方は、体調を崩し免疫が低下すると、肺炎や敗血症などを起こすことがあります。肺炎は日本人の死亡原因の第3位となっており、9割以上を高齢者が占めています。その肺炎の原因の中で最も多い細菌が、この「肺炎球菌」です。

Q. 成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種の有効性は？

A. 肺炎球菌ワクチンでは、肺炎球菌による肺炎などを予防し、重症化を防ぎます。しかし、すべての肺炎を予防するワクチンではありません。肺炎球菌は90種以上の型がありますが、予防接種ではそのうち23種の型に効果があります。

1回の接種で約5年間、予防効果が持続するといわれています。

任意接種も今年度が最後のチャンス！ご希望の方は忘れずに接種しましょう。また、肺炎予防には、うがい・手洗いも大切です。



Q. 城里町での助成は？

A. 接種費用の一部、2,000円を助成します。

平成30年度定期接種対象者（今年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方。過去に接種を受けている方は除く）には予診票を送付しています。また、接種を希望される次の方は、申請により任意接種が可能です。お早目に問合せ先までご相談ください。

- ・過去に自費で肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けてから5年以上経過している方
- ・65歳以上の方で、これまでに接種する機会を逃してしまった方

問合せ 健康保険課 健康増進グループ(常北保健福祉センター内) ☎029-240-6550

しろさとまち通信

— 城里町地域おこし協力隊 — Vol.32

城里町地域おこし協力隊の連載、12月号は日渡香が担当します！



▲タマネギの育苗管理の様子

問合せ 農業政策課
☎029-288-3111
(内線253)

みなさん、こんにちは！農業政策課地域おこし協力隊、日渡です。将来町内での就農を目指す、町内農家さんの指し、町内農家さんのもとの農業研修を行っています。

私は昨年、複数の農家さんと研修を受け、さまざまな農業の形を学びました。今年は、特に興味のある有機農業を中心に学んでいます。土づくりや多品目栽培が主な研修内容で、自然の力を生かした農法の奥深さに感銘を受けた日々です。手間をかけてゆっくり育った野菜はとても滋味深いです。

今年の夏は特に暑く、農作業がとて辛く感じました。必死に作業を続けるうちに自然に体重が落ち、凶らずも

良いダイエツトとなりました。研修先の農家さんから、「仕事が速くなった」とお褒めの言葉をいただけて嬉しかったです。

先日、笠間市で行われた農業セミナーで、先輩農家さんのお話を伺いました。最初はうまくいかないことが多く、大変苦労されたとのことでした。しかし、とても生き生きと話をされている姿が印象的で、農業はやりがいのある仕事だと感じました。

私も同期の協力隊とともに頑張りたいと決意を新たにしています。今後皆様にご指導いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。